

言語の研究

第 4 号

言語の研究

GENGO NO KENKYU
(Inquires into Japanese Language)

No. 4 July, 2018

CONTENTS

国冬本『源氏物語』に見られる使役と尊敬のサス
—サ変動詞+助動詞サスに相当する
サスについて— …………… 竹部 歩美 … 1

关于现代汉语词典中未收录的同素逆序词的来源
—以词典中的实例和出处为中心— …………… 馬 雲 … (1)

和歌山県紀北地方にみられる伝統的な方言使用の
減少について
—若年層における大阪方言の影響の拡大— …………… 森西カンナ … (21)

〈ら入れ言葉〉の使用実態とら抜き言葉との関係に
ついて
—永遠に見られる・名前で呼ばれる・
さらっと食べられる— …………… 浅川 哲也 … (57)

第 4 号

TAKEBE Ayumi : On Causative Expression and Passive Expression in "The Tale of Genji, Kunifuyu Text" …………… 1

MA Yun : The Origin Of The Two-character Kanji Words with Reverse Order in Modern Japanese but not in Modern Chinese with the earliest source of the word in the dictionary as the center …………… (1)

MORINISHI Kanna : Diminishing local dialect in Kihoku of Wakayama Prefecture : Widespread of Osaka dialect with teenagers …………… (21)

ASAKAWA Tetsuya : About use actuality of "rairekotoba" and a relation between "rairekotoba" and "ranukikotoba". …………… (57)

首都大学東京言語研究会

首都大学東京
言語研究会
2018.7

Edited
By
TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY GENGO KENKYUKAI
HACHIOJI, TOKYO

編集後記

本号に投稿してくださいました会員の御研鑽と、本会の運営委員ならびに査読協力者の御尽力により、ここに『言語の研究』第4号を発行することができた。衷心より御礼を申し上げます。

本号の編集の経緯は次のとおりである。本号には、学術論文として五件の投稿があり、五件が査読の対象となった。五件のうち一件が査読委員による査読を経て「採用」となり、二件が「修正採用」、二件が「再投稿」となった。二件の「再投稿」は、投稿者による改稿の後に再投稿され、これを受理した。この再査読の結果、一件が「修正採用」、一件が残念ながら「不採用」となった。また、投稿者より中国語で執筆された論文の投稿があった。編集規定では投稿論文の使用言語についての規定がなかったため、運営委員会では以下の対応をした。まず、この投稿については、当該投稿論文の日本語版での査読を行い、最終的に「修正採用」の結果が出た時点で、中国語母語話者の査読者による中国語版の投稿論文の査読を改めて行い、「採用」に至った。

御多用中のところ、査読・再査読を快くお引き受け下さった先生がたには改めて御礼を申し上げます。

会員の優れた学術論文を学界に広めるために、本誌が少しでもお役に立つことができれば、会として幸いである。会員の皆様には奮って玉稿の御投稿を賜わりたい。

二〇一八年六月三〇日 浅川 哲也

首都大学東京 言語研究会

会 長 浅川哲也

副会長 神田明延

運営委員 李 讓珍・グリブ・ディーナ・竹部歩美

山本 淳・吉田永弘・劉 志偉（五十音順）

編集主任 浅川哲也

査読協力 小西いずみ・手坂凡子・朴 錦女・劉 永亮
（五十音順）

言語の研究 第4号

二〇一八年七月二五日印刷

二〇一八年七月三〇日発行

発行者 首都大学東京 言語研究会

代表者 浅川 哲也

〒一九二一〇三九七

東京都八王子市南大沢一―一

首都大学東京 人文科学研究科

日本語教育学事務室気付

電話番号 〇四二・六七七・二一九四

振替口座 一〇〇七〇―二七〇六三八一

（ゆうちょ銀行）

印刷所

株式会社 秀飯舎